

世界が進むチカラになる

MUFG ④

挑戦
する企業



アライアンス 2.0

「今後のモルガン・スタンレー(MS)との関係をアライアンス2.0と標榜し、今後数十年続く、さらに強靱なパートナーシップに進化させる」。

動画投稿サイト「ユーチューブ」に18日、三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)社

モルガン・スタンレーと提携強化

長の亀沢宏規が自身の決意を示す動画を公開し、銀行業務での協業を中心とした。MS最高経営責任者(CEO)のジェームス・ゴーマンも登壇し「アライアンス2.0のコアは顧客に対する重要なび

模の出資を行った。投資銀行業務での協業を中心しに富裕層向け資産運用支援サービス(ウエルスマネジメント)、資産運用領域に協業の範囲を拡大。MUFGの22年度の

を用いた新規参入者の台頭で競争が激化した。業務の高度化や顧客基盤の拡大、大規模システム開発で外国為替取引量を拡大しなければ生き残れな

外為トレーディング拡大

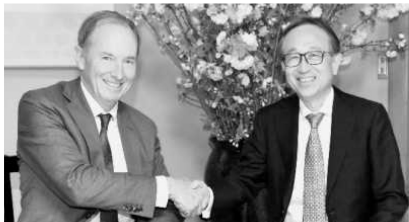
ビジネス領域での協働強化だ」と応じる。

当期利益1兆1164億円の3割近くをMSが占

規模効果生む

両社の関係はリーマン・ショック直後の2008年秋にさかのぼる。同年9月19日にMS側がMUFGに出資を打診。MUFGは9000億円規模の進捗や先進技術

このため、三菱UFJ銀行が持つ国内外の顧客企業との取引関係とMSの機関投資家など国際規格提供力の向上や商品・サービスの品ぞろえを充ち、アジアトップの立ち位置を狙う。



▲ 亀沢社長(右)とゴーマンCEOの会合も定期的に開催している

このほか、機関投資家向け日本株セールス業務を三菱UFJモルガン・スタンレー証券(MUFG証券)からモルガン・スタンレーMUFJ証券(MS証券)に移管・集約する。両証券を合わせた純営業収益は3813億円。国内証券会社で野村証券に次ぐ規模とな

る。「(MUFG、MS、MS)の2社一体となって国内トップを目指す」(亀沢 戦略だ。

(敬称略)